



報道関係各位

2020年5月20日

福田美術館

福田美術館「若冲誕生～葛藤の向こうがわ～」 2020年5月23日（土）より再開

福田美術館は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため京都府の要請をにより、臨時休館中していましたが、この度一部解除されましたので、「若冲誕生～葛藤の向こうがわ～」を再開いたします。

また開催期間は5月23日（土）～7月26日（日）と変更させていただきます。



再開にあたり国際美術館会議（CIMAM）が公開した
新型コロナウイルス感染症予防対策として美術館が注意すべき

<来館者の安全><スタッフの安全><施設管理><パブリック・コミュニケーション>
に基づき、対応を徹底いたします。

来館者への協力依頼内容

- マスクもしくはそれに準じる物で口元を覆うこと
- 入館の際、非接触体温計にて検温（37.5℃以上の方は入館不可）
- 万一の場合連絡がつくようにするため入館時は居住地（〇〇市××区）、代表者氏名、電話番号を記入
- ソーシャルディスタンスの保持
- なるべく自身のスマートフォンでの音声ガイド利用
- 混雑を避けるためオンラインでのチケット購入を推奨

休館中の福田美術館の取組み

当館では臨時休館中、WEBを中心とした施策も行っておりまいた。

- ★通信販売での図録・グッズ販売
- ★ネット会議用の福田美術館オリジナル背景を提供
- ★動画チャンネルに解説動画をアップ





福田美術館

FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

約30点の初公開作品は、福田美術館ならではのラインナップ

本展は、約30点の初公開作品を含む、総数およそ50点の若冲作品が展示される注目の展覧会です。
さらに今回新発見された若冲30代の初期作品とされる「燕に双鶏図」が展示されます。

新 発 見

【若冲30代の最初期の彩色画「燕に双鶏図」(かぶにそうけいず)】

現在知られる若冲画の中では、若冲が「景和」と名乗っていた時期に制作された『雪中雄鶏図』(細見美術館蔵)が最初期のものとされていましたが、今回新発見された彩色画は、それ以前に制作された可能性があると、注目されています。

技法的には未熟な所もあるものの、羽毛の一本一本まで細密に描かれており、若冲らしい魅力が溢れる作品です。



初 公 開

「燕に双鶏図」以外にも多くの作品が初公開されます。うち11点が福田美術館のコレクションとなります。



(左から)伊藤若冲「仔犬図」(部分)、伊藤若冲「雲中阿弥陀如来図」、伊藤若冲「鯉魚図」(部分)、
伊藤若冲「小槌に宝珠図」(部分)、伊藤若冲「盧葉達磨図」(部分)



若冲の葛藤、それを支えた支援者、共に18世紀を生きた画家たちを作品を通して紹介

近年人気を集めている江戸時代の画家、伊藤若冲(1716-1800)は、京都錦小路にある青物問屋「枹屋」の長男として生まれました。23歳のとき、亡くなった父に代わり家業を継ぎます。30代で家業のかたわら描いた絵には、独自の感性による表現が感じられます。家業を続けるのか、絵に専念するのかという葛藤に苦しんでいた若冲を解放したのは、彼の絵の才能を見だし、精神的に支えた大典禅師をはじめとする禅僧や支援者たちでした。彼らが若冲やその家族を援助し励ましたことで、40歳で家業を弟に譲り、絵を描くことに専念することになります。また、曾我蕭白、円山応挙など個性あふれる同時代の画家たちの作品も展示し、若冲の生きた18世紀京都画壇の秀作をお楽しみいただきます。

<辻惟雄先生特別対談～新発見「燕に双鶏図」～>

2019年11月9日(土)、新発見の「燕に双鶏図」を実際にお持ちして、若冲研究の第一人者である辻惟雄先生(美術史学者)と、福田美術館学芸課長の岡田秀之が対談しました。
※対談の様子はYouTubeにて配信中。



伊藤若冲「燕に双鶏図(かぶにそうけいず)」(部分)

タイトル 若冲誕生～葛藤の向こうがわ～

会 期 2020年3月28日(土)～7月26日(日) 前期:3月28日(土) - 6月29日(月) 後期:7月1日(水) - 7月26日(日)

開館時間 10:00～17:00(最終入館 16:30)

※一部作品については途中で入替える可能性あり

休館日 火曜日

入館料 一般・大学生:1,300(1,200)円/高校生:700(600)円/小中学生:400(300)円
障がい者と介添人1名まで:各700(600)円/二館共通券:2,000円

※()内は20名以上の団体料金 ※幼児無料

主催 福田美術館、京都新聞

■報道関係のお問い合わせ

「福田美術館」広報事務局(ウインダム内) 担当:沼澤、多田

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833 Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F 「福田美術館」広報事務局



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

masaya Kushino × 伊藤若冲 福田美術館にて若冲インスパイア作品を展示！

福田美術館は、2020年3月20日より「若冲誕生～葛藤の向こうがわ～」を開催いたします。本展示会では、ニューヨーク・ロンドン・パリなどでシューズデザイナーとして活動する串野真也氏が、若冲からインスピレーションを受けて制作した、新作を含む作品を2Fパノラマギャラリーにて展示致します。ご期待ください。



“伊藤若冲の描く動植物は、本物よりも更に本物らしく、観る者を魅了する。特に鶏の作品は、鶏に取り憑かれたのではないかと思うほどに集中し描写されており、狂気すら感じる。

200年という時間を経てもなお生き続ける伊藤若冲の想いは、多くのクリエイターに創作意欲を与え生き続ける。その想いを感じ受け止める事によって生まれた私の作品もまた、200年先の誰かのインスピレーションに繋がる事を願っている。“—串野 真也

串野 真也(くしの まさや) プロフィール



広島県尾道市因島出身。京都芸術デザイン専門学校を卒業後、イタリアに留学。“Istituto MARANGONI”ミラノ校、ファッションデザインマスターコースにてディプロマを取得。帰国後、自然からインスピレーションを受け、ファイナルデザインをテーマにした靴の作品を最先端技術や伝統技術などを駆使して製作し、世界に向けて発表しています。

若冲の絵画には若い時より魅了され、鳥などの動物から発想を得た靴のシリーズを制作。そのなかでも、「Stairway to Heaven」はアメリカのトップシンガーであるレディー・ガガが実際に履いた靴で、国内外を問わず高く評価されました。

また、若冲筆の「雪梅雄鶏図」をテーマにした「Bird Witched」はイギリスのビクトリア&アルバートミュージアムの収蔵品となっており、様々な美術館で展示されています。

本展示会では、若冲筆「瓦に雄鶏図」からインスピレーションを得て制作した作品など、約10点を展示予定。



ご希望の画像番号を申込書に明記し、
FAXにてお送りください。

作品画像



1:伊藤若冲「蕪に双鶏図」



2:伊藤若冲「柳に鶏図」



3:伊藤若冲「群鶏図押絵貼屏風」



4:伊藤若冲「鯉魚図」



5:伊藤若冲「仔犬図」



ご希望の画像番号を申込書に明記し、
FAXにてお送りください。

作品画像



6:伊藤若冲
「玉蜀黍図」



7:伊藤若冲
「雲中阿弥陀如来図」



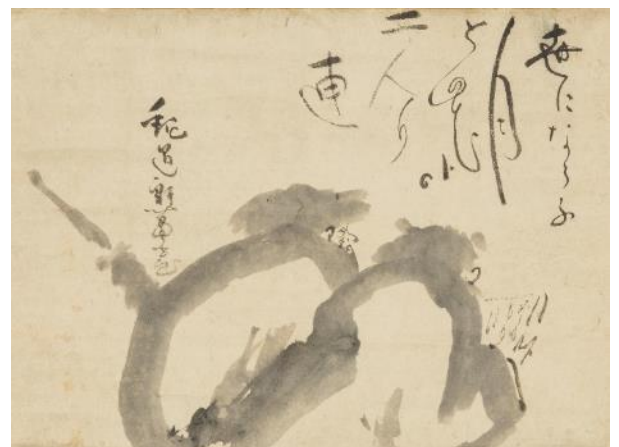
8:伊藤若冲
「小槌に宝珠図」



17:伊藤若冲
「蘆葉達磨図」



9:宋紫石
「蓮・菊・牡丹図」



10:曾我蕭白
「寒山拾得図」



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

プレス用写真一覧

ご希望の画像番号を申込書に明記し、
FAXにてお送りください。



01.コラボ展示メインイメージ



02.串野真也氏



03.展示予定作品①



04.展示予定作品②



福田美術館

FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

プレス用写真一覧

ご希望の画像番号を申込書に明記し、
FAXにてお送りください。

館内写真



11: 水盤



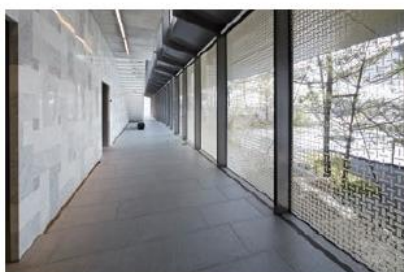
12: エントランスロビー



13: 「網代文様」の外壁ガラス



14: カフェ



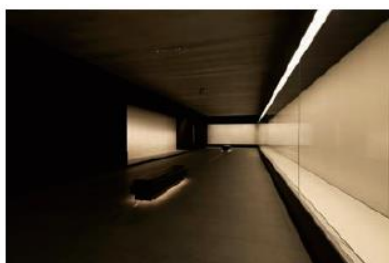
15: 廊下①



16: 廊下②



17: 展示ケース



18: 展示室



地図



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

■福田美術館について

2019年10月1日、京都屈指の観光地である嵯峨嵐山に、新名所「福田美術館」が開館しました。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋がる美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてまいりました。これまで支えていただいた地元の方々のご支援、そして京都という土地に対して、恩返しをしたいという熱い思いから、当美術館を設立する運びとなりました。

福田美術館の建つ場所は、古来より多くの貴族や文化人に愛され、芸術家たちがすぐれた作品を生み出す源泉となった嵯峨嵐山。今や日本国内だけでなく世界中から人々が訪れる観光地となっています。

この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



■美術館概要

●福田美術館 FUKUDA ART MUSEUM SA GA ARASHIYAMA

●京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16

●敷地面積 1982㎡

●延床面積 1193.58㎡

・展示室1 151.2㎡

・展示室2 175.4㎡

・パノラマギャラリー 64.5㎡

●交通アクセス

・JR山陰本線(嵯峨野線)「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩12分

・阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩11分

・嵐電(京福電鉄)「嵐山駅」下車、徒歩4分

運営: 合同会社AYG(京都市右京区西院東貝川町31番地 西院ビル8階)

館長: 川畑 光佐

